

第35号

ボランティアの輪を広げよう
- 発行 -

糸魚川市ボランティアセンター
糸魚川市ボランティア
連絡協議会
(糸魚川市社会福祉協議会内)
新潟県糸魚川市寺町4-3-1
TEL (025)552-7700
FAX (025)553-1657

糸魚川市 ボランティアだより

第18回

ボランティア フェスティバル

令和6年

11月2日(土) 10:00~12:00

会場 ビーチホールまがたま



バルーンパフォーマンス



赤い羽根 めりえ



アソビバ!



救急法

参加者 328名

ボランティアフェスティバル

11月2日(土) ビーチホールまがたま

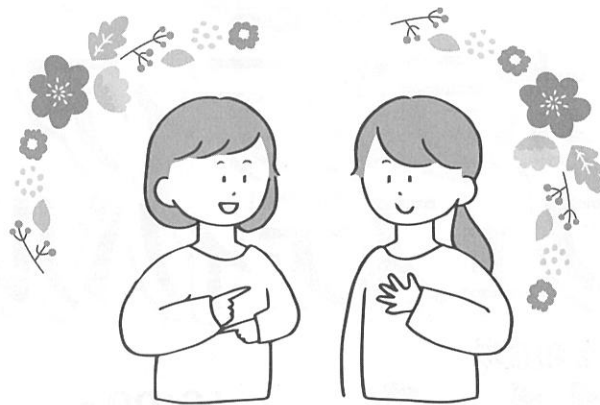
糸魚川手話サークル 藤井久美子

私たち糸魚川手話サークルは、ボランティアフェスティバルで「手話体験コーナー」を担当しました。当日は天候が悪かったにもかかわらず多くの皆さんに参加していただきました。

小学生のきょうだいや友達同士で来てくれたり、親子で参加されたり、以前から手話に関心があっ

たけど機会が無くて…という方、本当に多くの方に参加していただきありがとうございました。私たちも糸魚川市ろうあ協会会員さんのお手伝いをいただき、来場者の皆さんには、貴重な体験をしていただけたと思っています。

手話は相手の目を見て“手で話す”言葉です。同じような手指の形でも向きや動かす方向で意味が全く異なる語もあるので、初めての方には難しかったと思いますが、真剣に手を動かしながら覚えていただき、私たちもとっても嬉しく思いました。



視察研修

10月12日(土) 新発田市 10名参加

糸魚川ライオンズクラブ 猪又和子

ボランティア連絡協議会の研修として、新発田市ボランティアフェスティバルの視察に行ってきました。

会場は、自然環境の良さと規模が充実していました。

動物ふれあいコーナーを覗き、消防車両の展示、日赤救急所、緑日コーナーを巡り、キッチンカーでは売り切れや1時間待ち。風が気持ちよく、屋外で日差しを避けてキッチンカーのラーメンを食べました。

館内のステージでは、太鼓、日舞、甚句などが時間割で発表していました。ステージ横下ではロープで囲った通



路での車椅子体験してみました。進、退、とても難しかったです。

受付でもらった場内マップに添って各コーナーをまわり、作品を買ったり、地元の人たちとの会話を楽しみました。ビックリしたのは写本コーナーで筆入門している人がいたことです。パソコン、人権擁護、消費者協会など市民の各種団体が活気に溢れていました。

2階では、静かに絵本の読み聞かせ、ぬり絵を体験し、出来上がった作品は展示してもらいました。他には、紙ヒコーキを作って飛ばしたり、ネームプレートをトースターで焼き、友達のお土産にしました。

フィナーレでは、「子どもたち集まれ!」のアナウンスがあり、ステージで餅まきが行われ、本日の締めくくりとなりました。

最後になりましたが、忙しい中で企画・運営された方々に心より感謝とお礼を申し上げます。



新発田市ボランティアフェスティバルの様子

災害ボランティアバス 9月28日(土) 石川県輪島市 12名参加

新潟県赤十字安全奉仕団糸魚川市分団 金子義典

ボランティアバスには何回かお世話になりました。思い返せば水害の関川村、長野市、遠くは岡山県倉敷市。東日本大震災の時は、岩手県陸前高田市へも行かせてもらいました。

しかし、今回の能登半島地震では能登半島全体が被災地となっている事を強く感じました。ですのでボランティアバス運行決定が7月になった事も、納得出来るものでした。



さて、7月6日の輪島市門前町での災害ボランティアバスに参加した後、9月21日～23日に奥能登豪雨が起きました。地震の被災の傷も癒えないままのその場所に、甚大な水害の爪痕。

9月28日、輪島市へ向かう2回目も凸凹の道路に閉口しながら到着。こちらでは、取り壊す建物からの荷物出しの活動をさせてもらいました。

被災地に入って毎回思うのは、「自分が当事者だったら?」です。ボランティアの一人は微力ですが、大勢が集まれば少なからずの手助けになると思います。決して遠くない能登、機会があればまたお手伝いさせてください。

いとよ朗読奉仕会 会員募集

私たちは、視覚障害者の目の代わりとして、文字情報を音声に変える活動をしています。市からの情報(広報いといがわ、おしらせばん等)を声に訳してCDに収録し利用者に郵送しています。

会員は仕事をしながらの人、介護をしながらの人あるいはこの活動に興味を持ち自分の生活に取り入れてみようかと思った人などさまざまです。月2回の(第2日曜日・第4水曜日)定例会は自分の都合にあわせて参加しています。そこでは声の出し方やアクセント、写真、グラフなどの説明の仕方など会員同士で研鑽しています。

この活動を次世代に引き継いでもらいたいと皆さんからの参加を切に思います。興味のある方は私たちの活動を見学してみませんか。



問合せ (藤木)
電話 552-3195

糸魚川手話サークル 参加者募集

私たち糸魚川手話サークルは、毎週木曜日夜7時30分からビーチホールまがたま2階研修室で学習しています。

また、全く初めてで夜は出かけられないという方を対象に、どなたでも参加していただける「手話ミニ講座」を5月から日曜日の午前中に開催しています。関心のある方は、4月以降の市の広報「おしらせばん」をチェックしてみてください。

問合せ (社会福祉協議会) 電話 552-7700



中能生小学校ボランティア活動紹介

アルミ缶回収活動

中能生小学校では、毎年、地域の方と力を合わせ、アルミ缶回収を行っています。今年度で32年目の活動です。回収したアルミ缶の収益で、地域の介護老人福祉施設に車椅子等を寄贈しています(昨年度は、車椅子1台、車椅子用クッション1枚、ポジショニングクッション4個を寄贈)。

今年度も5月～11月の月2回、児童が自分の地区の担当家庭を訪問し、アルミ缶を回収しました。回収したアルミ缶は、ファミリー班(縦割り班)で協力してピロティに運び、大きな回収袋に入れます。

11月現在、回収したアルミ缶は 1,867 kgです。今後も、地域とのつながりを深めるためにも、継続して取り組んでいきます。



地区の担当家庭に依頼文書を直接届け、協力をお願いします。



集めたアルミ缶は、ファミリー班で協力してピロティへ運びます。

～車椅子贈呈の様子(昨年度)～



福祉施設の所長さんに車椅子と目録を渡しました。人のために役に立つことができ、とてもうれしかったです。



1か月で、大きな回収袋20個分くらい集まります！

赤い羽根募金活動

学校では、毎年、緑の羽根や赤い羽根の募金を行っています。今年度は、より多くの募金を集めるために、学習発表会のときに、図書委員が募金活動を行いました。保護者や地域の方に直接呼び掛け、たくさんの方から募金にご協力いただきました。



これからも、「わたしも大事 あなたも大事 笑顔あふれる中能生小学校」の合言葉の下、ボランティア活動を教育活動の基盤にして、人に優しく、温かみのある学校を目指します。

編集後記

今回は正にボランティアの記事が多くなりました。寄稿いただきました皆様、ありがとうございます。阪神・淡路大震災からちょうど30年。その1995年は新聞記事によりますと、「ボランティ

ア元年」と呼ばれているそうです。災害ボランティアの概念は長き年月を経て、目的や機能は明確化されてきたとも記してありました。自発的な行動こそが、何よりも貴重な行為なのだ改めて感じた次第であります。 広報部 杉ノ上